

## 第4回検察庁等契約監視会議議事概要

開催日 平成21年2月17日(火)

場所 法務省大臣官房会計課会議室

委員 椎橋隆幸(中央大学法科大学院教授)  
瀬戸洋一(首都大学東京産業技術大学院大学教授)  
太田達也(慶應義塾大学教授)

審議対象契約 検察官署, 更生保護官署及び地方入国管理官署において, 平成20年8月から同年11月までの間に契約を締結した一般競争入札案件139件及び随意契約案件(少額随意契約を除く。)5件, 並びに過去の審議対象漏れとなっていた一般競争入札案件4件及び随意契約案件3件

### 議事等

#### 1 重点検討対象契約

(1) 熊本地方検察庁一般定期健康診断等業務委託契約(一般競争入札)

契約金額 1,237,110円

支出負担行為担当官 熊本地方検察庁検事正

(2) 長野地方検察庁管内6支部LAN配線敷設請負契約(一般競争入札)

契約金額 1,010,257円

支出負担行為担当官 長野地方検察庁検事正

秋田地方検察庁管内5支部LAN配線敷設請負契約(一般競争入札)

契約金額 296,100円

支出負担行為担当官 秋田地方検察庁検事正

(3) 前橋法務総合庁舎ほか4庁の床面清掃及び窓ガラス清掃業務請負契約(一般競争入札)

契約金額 818,017円

支出負担行為担当官 前橋地方検察庁検事正ほか

(4) 一般事務用備品購入契約(随意契約)

契約金額 4,095,000円

支出負担行為担当官 宮崎保護観察所長

(5) 医療機器等供給契約(一般競争入札)

契約金額 2,074,844円

支出負担行為担当官 名古屋入国管理局長

(6) デジタルカラー複合機交換契約(一般競争入札)

契約金額 472,500円

支出負担行為担当官 福岡入国管理局長

#### 2 質疑事項等

各重点検討対象契約について, それぞれ契約の概要, 予定価格の積算方法及び仕様の内容等について質問があり, 当該契約の必要性, 契約の内容, 入札参加業者の状況, 予定価格の積算方法及び仕様書の内容等について説明が行われた。

主な質問事項等は以下のとおりである。

質 問 事 項	事 務 局 説 明
重点検討対象契約（２）について	
低落札になった理由として、予定価格の設定において、人件費の積算に検討の余地があったのではないか。	人件費については、業者側の事情により差異があるため、画一的な積算は困難であるが、可能な限り多くの業者から見積書を徴し、合理的な積算を行うようにする。
重点検討対象契約（３）について	
予定価格からみた落札率がかなり低くなっているが、予定価格の設定が適切でなかったのではないか。	過去の入札実績や市場価格の調査結果等を基にして予定価格を設定した。落札額が異常に低額の場合には、その要因を調査することが必要であると考え。
重点検討対象契約（４）について	
不落による随意契約となっているが、予定価格の設定はどのようにしたか。	物価資料、参考見積書及び市場価格調査から予定価格を設定した。
重点検討対象契約（５）について	
特殊な製品でないにも関わらず、なぜ一者しか応札がなかったのか。	見積書は２者から徴している。備品類のほか消耗品も併せてすべての品目を一括で契約しようとしたことが結果的に一者入札となった要因であると考え。
重点検討対象契約（６）について	
予定価格をたてる際には、民間のビジネスモデルをよく調査する必要があるのではないか。	現在のところ、機器の購入代金に５年間の保守料を加えたトータルコストでもって落札判定を行っている。

### 3 意見具申等

今回審議した契約については、特に個別的に意見として申し上げることはない。引き続き適正な契約に努められたい。

### 4 次回の会議開催

平成２１年６月に第５回を実施する。

審議の対象契約については、検察官署、更生保護官署及び地方入国管理官署が平成２０年１２月から平成２１年３月までに締結した契約とする。